



河村尚子 ©Hirofumi Isaka



カルテット・エクセルシオ

FOCUS

3.11 水 河村尚子 ショパン・プロジェクト

第2回「思い出のショパン～師・クライネフに捧ぐ」

文 関根哲也

演奏会に寄せて
河村尚子

あれは15歳の夏。ポーランド人のピアノ教師バートル・シュライバー女史とご主人、そして母と共に当時住んでいたゲッティンゲンからハノーファーの音楽大学に向かった。

とても天気の良い日で、音楽大学の側にある並木道の木々が蒼々しく風に靡いていた。

大学の142号室に入ると、笑顔で握手の手を差し伸べて下さったクライネフ氏。それでなくても大学生のレッスンで多忙な毎日なのに、私の知る限り、クライネフ氏が若いピアニストの演奏をレッスンの合間に聴くのを拒んだことは、決してなかった。なぜなら彼は新しい才能というものを愛し、敬っていたからだろう。新しい才能と出会う度、自分のことのように他人に自慢していた。そんな恩師と15年間の付き合いになろうとは、その頃の私は考えてもいなかった。

67歳とあまりにも若くして他界してしまいましたが、それまでに彼から学んだことや共に過ごした時間は、私の10代後半から20代の成長の中で忘れ難きものとなった。ピアノのレッスンは勿論、その後にご自宅でご馳走になる夕飯とお喋り。コンサートや美術館を訪れたり、彼のご家族や知人と親交を深めたりと、振り返れば、私はあらゆる生活面からロシアのエッセンスを吸収していた。

今回のプログラムは恩師へのオマージュという形で皆様に聴いていただくこととなる。その曲目は、クライネフ氏が自ら好んで弾いた作品から、私が彼のレッスンで取り組んだものまで様々だが、演奏会の第2部に弦楽四重奏団、カルテット・エクセルシオと共演する〈ピアノ協奏曲第2番〉は恩師の十八番でもあり、私が協奏曲のレッスンに初めて持参した曲、そして今から10年前に日本デビューで東京フィルハーモニー交響楽団と演奏した曲でもある。

河村尚子さんの恩師

ウラジミール・クライネフ氏

昨年11月からスタートした河村尚子さんによる「ショパン・プロジェクト」(全4回)。第2回は、河村さんの恩師であるウラジミール・クライネフ氏(1944～2011)に捧げるプログラムが組まれました。

クライネフ氏はロシアのピアニスト、ピアノ教師。1970年、第4回チャイコフスキー国際コンクールに優勝し、世界各地で演奏活動を開始。1987年にはモスクワ音楽院の教授、1994年にはドイツ・ハノーヴァー音楽院の教授に就任し、後進の育成に尽力。河村さんがクライネフ氏を訪ねたのは、クライネフ氏がハノーヴァー音楽院教授に就任してから数年後のことでした。河村さんのコメントにもある〈ピアノ協奏曲第2番〉のほか、〈舟歌〉〈ワルツ 変イ長調〉〈英雄ポロネー

ズ〉など、クライネフ氏との思い出の詰まった名曲の数々が、今回演奏されます。

カルテット・エクセルシオとの共演も

〈ピアノ協奏曲第2番〉(五重奏版)の演奏には、国内屈指の常設弦楽四重奏団、カルテット・エクセルシオが参加します。昨年、結成20周年を迎え、津田ホールを拠点に「弦楽四重奏の旅」シリーズを新たに開催するなど、ますます充実した活動を見せています。チェロの大友肇さんが、昨年、第13回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞されたのも記憶に新しいところです。今回の〈ピアノ協奏曲第2番〉では、持ち前のしなやかなアンサンブルで河村さんのピアノを盛り立てることでしょう。どうぞ、ご期待ください。

河村尚子 ショパン・プロジェクト
第2回「思い出のショパン～師・クライネフに捧ぐ」

3/11 水 18:30 開場
19:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM
全席指定 一般 3,500円
ユース(25歳以下) 1,000円

出演 河村尚子(ピアノ)
カルテット・エクセルシオ※
曲目 華麗なる変奏曲 変ロ長調 作品12
マズルカイ短調 作品17の4
ノクターン 変ニ長調 作品27の2
舟歌 嬰ヘ長調 作品60
ワルツ 変イ長調 作品42
ポロネーズ 第6番 変イ長調 作品53(英雄)
ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 作品21
(五重奏版)※

MESSAGE from 河村尚子

3.8 日 避難訓練コンサート

「もしコンサート中に地震が来たら……？」

文 篠田大基

2011年3月11日に発生した東日本大震災から、もうすぐ4年になります。4年前の8月、震災復旧工事を終えて再開館したばかりの水戸芸術館で、震災後全国初めてとなる「避難訓練コンサート」を開催しました。演奏の最中に地震が発生したという想定で、お客様も出演者もスタッフも一緒に避難訓練を行うというユニークな企画です。スタッフ一同、大変な緊張のなかで訓練に臨んだことを覚えています。おかげさまでこの企画は多くの方からご注目、ご好評をいただきました。コンサートの経験を活かして、水戸芸術館では防災マニュアルの整備と改良を進めてきました。その成果を試す

べく、今年の3月8日に当館2回目の「避難訓練コンサート」を開催します。約2時間のコンサートの途中で突然始まる避難訓練に、ぜひ皆様にご参加いただき（いつ避難訓練を行うかは秘密です！）、そして訓練後は、ゆったりとした気分でコンサートをお楽しみください。

今回の出演は、吹奏楽コンクールで優秀な成績を収め、県内外のさまざまなコンサートで演奏を披露している大成女子高等学校吹奏楽部（指揮：船山貴司さん）と水戸女子吹奏楽部（指揮：木村達也さん）の2団体。今回初めての共演、そして競演となる水戸市内の2校の吹奏楽部が、ハイレベルで若々しい力にあふれた

アンサンブルを響かせます。

さらにコンサート中には講演会も開催します。予測のつかない災害からどうやって身を守り、二次災害を防ぐのか、水戸市の災害対策を推進する防災担当部署の小林良導さんが、その方法を徹底解説します。

災害はいつ起こるか分かりません。3・11の教訓を忘れないために、皆様のご来場をお待ちしております。

避難訓練コンサート

3/8日 15:00 開場
15:30 開演
会場 水戸芸術館コンサートホール ATM
全席自由 入場無料（要入場整理券）

3.15 日 「市民のためのオルガン講座」実技レッスン受講生による発表会

3.21 土 「準・メルクル ヴァイオリン貸与プロジェクト」貸与者による発表会

いよいよ卒業シーズン！これまでの学びの成果がいま花ひらく

文 高巢真樹

水戸芸術館では、音楽をより深く学びたい方のために様々な企画を行っています。その中で、3月にこれまでの学びの成果を発表し、卒業の時を迎える方たちがいらっしやいます。

まずは「市民のためのオルガン講座」の実技レッスンコースで半年間学んだ受講生の発表会です。小学4年生から40代まで、ほとんどが初めてオルガンを弾くという5人が、9月から、オルガニスト・室住素子さんによる熱いご指導のもと、その奏法を学んできました。最初は「きらきら星」を題材に、自分でストップ（※演奏に使う音色を選ぶボタン）を引き出して様々な音色を探索したり、足鍵盤を試したり、3段ある手鍵盤を飛び移るなど、オルガンならではの体験をるところから始まりました。その後、パッヘルベルの〈シャコンヌ 二長調〉を共通課題に、基本奏法を習得。現在は自由曲の発表に向けて、レッスンに励んでいます。受講生が懸命に練習を重ねた末に、どのような音楽が響きわたるのでしょうか？発表の瞬間にぜひご期待ください！

次に、「準・メルクル ヴァイオリン貸与プロジェクト」でヴァイオリンの貸与を受けた学生4人による発表会です。当館では、長年水戸室内管弦楽団と共演している指揮者の準・メルクルさんが、音楽を学ぶ茨城の若者のために寄贈してくださったヴァイオリン4挺を、2年間、学生に貸与しています。18～20世紀のヨーロッパ製という歴史と個性を備えた楽器をどのように活用しているのか、昨年春に寄せられたレポートを一部ご紹介します。「去年の夏、TBS子ども音楽コンクールに出場しました（…）結果は大成功で、3年ぶりに優秀賞をとることができました。このとき、改めてこのヴァイオリンのすごさに感動しました」（中学生：出口恵大さん）。「この楽器と出会うまでは3/4スケールの楽器を使っていたのですが、分数量器はフルサイズと比べて音量が出しづらく、かんでしまったり、いつも自分からビブラートをかけてしまうのがくせになっていました。でもこの楽器で練習しているとき、その自分の短所に気づくことができました」（高校生：小林日和さん）——それぞれ貸与楽器を大い

に活用されている様子が窺えます。2年間の集大成となる発表を、多くの方にお聴きいただければと思います。（この4挺のヴァイオリン、そして2挺のヴィオラの貸与者を、4月から新たに募集します！詳しくはホームページやチラシをご覧ください。）



（左から 野口わかかなさん、小林日和さん、古谷麻柚子さん、準・メルクルさん、出口恵大さん）

「市民のためのオルガン講座」 実技レッスン受講生による発表会

3/15日 13:00 開演（入場無料）
出演 飯島ありさ、岡野紗綾加、浅野智輝、
新妻悦子、江崎玲子

「準・メルクル ヴァイオリン貸与 プロジェクト」貸与者による発表会

3/21土 13:00 開演（入場無料）
出演 出口恵大、小林日和、野口わかかな、
古谷麻柚子

※いずれも会場は水戸芸術館エントランスホール
※曲目は当館ウェブサイトをご覧ください。

3.1 日 at 14:00 茨城笛の会 第35回日本フルートフェスティバル in 茨城

「第35回日本フルートフェスティバル in 茨城」では、たくさんのフルーティストが登場し、様々なフルートを駆使して、色彩豊かなフルートオーケストラの世界にご案内いたします（フルートオーケストラは、フルートだけでオーケストラのようなハーモニーやサウンドを表現する合奏の形態です）。

フルートオーケストラで使用する様々なフルートたちの多くは、我が茨城笛の会員である古田土フルート工房の古田土勝市さんによって、開発されてきました。皆さんがまだご存知のない、信じられないほど大きなフルートや、聴いたことのない音色のフルートが、水戸芸術館のステージにずらりと並びます。どうぞ、お楽しみに。

2015年は、シベリウスとデュカスが生誕150年の記念の年です。国籍の違う同じ年に生まれた2人の作曲家。音楽の性格としては対極にあるような、全く違った魅力を持つ2つの音楽（魔法使いの弟子）と〈トゥオネラの白鳥〉をコンサートのメインに据えました。2曲とも、フルーティストで指揮者の青木明先生の手による、ほっかほかの書き下ろしの編曲でご披露いたします。

またご案内役には、NHKの「おはよう日本」、元気中継のレポーターをつとめてきた入田直子さんが登場して、楽しいお話を交えながら進行いたします。

フルートフェスティバルはフルートのお祭りです。コンサートの他にも、会場では、フルートの展示・

試奏・リペア会を開催いたします。協賛フルートメーカーの自慢の逸品を手にとって試奏することもできますし、フルート専門のリペアマンによる愛器のメンテナンスも、どうぞご利用ください。

今回出演するフルーティストは、約100名。使用するフルートは、全10種類、その音域7オクターブ。展示するフルートメーカーは、10社。

フルートづくしでお待ちしております。

茨城笛の会 後藤晴美



3.22 日 at 14:00 水戸うらら女声合唱団 第7回演奏会

日本の言葉とその美しい響きを求めて飽くことなく御指導下さる中澤敏子先生のもとで40年の月日を重ねて参りました。今もお合唱への情熱は変わることなく、新しい発見をしながら歌い続けております。

世界に発信している水戸芸術館の開館記念コンサートに出演以来、第4回演奏会からこのすばらしい響きのホールで演奏させていただいていることを、大変嬉しく心から感謝申し上げます。

今回の演奏会は、それぞれ特色ある4つのステージからなっており、オープニングは敬愛する三善晃先生の〈ゆめのはじまり〉です。第1ステージは第5回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門で第1位の増本伎共子氏の〈梁塵秘抄〉より。後

白河法皇編纂による貴族や民衆に愛された「今様」を古くて新しい旋律、リズムによりことばの面白さも加えて多彩に表現した曲です。続いて〈北原白秋の詩による六つの歌曲〉と〈金子みすずの詩による七つの“お花”〉を野ばら会のソリスト達が歌います。作曲者をお迎えしての楽しいお話もお聞きできることと思います。第2ステージは、郷土を深く愛する作曲家・池辺晋一郎氏の〈万葉ひたちの歌〉。初演の指揮者・中澤先生が故木下保先生から直伝された「やまとことば」を私達はしっかりと受けとめ、みと葵女声合唱団と共に朗読、独唱も交えてお送り致します。第3ステージでは信長貴富氏編曲の〈赤い鳥小鳥〉（砂山）などを軽やかに歌います。どうぞお

楽しみ下さい。最後のステージは今活躍中の作曲家・なかにしあかね氏の〈花の風〉。“老いることの大切さ、枯れることの美しさ”という私達にふさわしい詩に共感し、美しいメロディーに深い愛着をもって歌い上げます。

私達はこれからも中澤先生の御指導をいただきながら、美しいハーモニーと感動の世界を求めて、ひたすら歌い続けて参ります。

水戸うらら女声合唱団
鳴原みよ子



「準・メルクル 弦楽器貸与プロジェクト」貸与者募集のお知らせ

専属楽団・水戸室内管弦楽団と長年共演している指揮者、準・メルクルさんから寄贈されたヨーロッパ製の弦楽器（ヴァイオリン4挺、ヴィオラ2挺）を、音楽を学ぶ茨城の学生の方に貸与いたします。申込方法の詳細は当館ウェブサイトやチラシをご覧ください。

【応募資格】下記のいずれかに該当する学生の方（大学院生を含む）

1. 茨城県に本籍を有する
2. 現在、茨城県内に居住している
3. 現在、茨城県内に通学している
4. 過去において茨城県内に居住・通学したことがある

【申込受付期間】2015年4月5日（日）～4月10日（金）当日必着

【審査】・書類審査（応募書類による審査）
・実技審査 2015年4月26日（日）14:00～

（会場：コンサートホール ATM）

【審査員】堀伝（水戸室内管弦楽団楽団長）、中村静香（同楽団メンバー）

【お問合せ】水戸芸術館「準・メルクル 弦楽器貸与プロジェクト」係
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
TEL 029-227-8118（担当：高巢、中村）

チケット・インフォメーション

《2月28日(土) 発売分》

■ちょっとお昼にクラシック 武久源造（フォルテピアノ）
6/17（水）13:30 開演
料金 [全席指定] ¥1,500（1ドリンク付き）

これからの演奏会・残席情報

- …残席あり（20席以上） △…残席わずか（20席未満） ×…残席なし
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席
- ◎コール・ヴィステリー 10周年記念演奏会……………2/15（日）自由席○
◎谷田部ひさみ ピアノ・リサイタル……………2/22（日）自由席○
◎ちょっとお昼にクラシック 松波恵子（チェロ）と素敵な仲間たち
……………2/27（金）中央×、左右○
◎茨城笛の会 第35回日本フルートフェスティバル in 茨城
……………3/1（日）自由席○
◎河村尚子 ショパン・プロジェクト 第2回……………3/11（水）中央○、左右○
◎水戸うらら女声合唱団 第7回演奏会……………3/22（日）自由席○
◎間宮芳生の肖像……………4/4（土）中央○、左右○
- ※2/3（火）現在の状況です。
※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

水戸芸術館の主な3月のスケジュール

コンサートホール ATM

- 茨城笛の会 第35回日本フルートフェスティバル in 茨城
3/1（日）14:00 開演
料金 [全席自由] 一般 ¥1,800（当日 ¥2,000）／高校生以下 ¥500
- 避難訓練コンサート
3/8（日）15:30 開演 入場無料 [全席自由]
※エントランスホール内チケットカウンターにて整理券配布（定員620名）
- 河村尚子 ショパン・プロジェクト
第2回「思い出のショパン～師・クライネフに捧ぐ」
3/11（水）19:00 開演
料金 [全席指定] 一般 ¥3,500 / ユース（25歳以下）¥1,000

- 水戸うらら女声合唱団 第7回演奏会
3/22（日）14:00 開演
料金 [全席自由] ¥1,500
- 水戸市内小中学校 東関東吹奏楽・関東合唱コンクール出場記念演奏会
（入場無料）
□3/7（土）11:00 開演 新荘小学校 / 15:00 開演 笠原中学校
□3/14（土）11:00 開演 第四中学校 / 15:00 開演 千波中学校

エントランスホール

- パイプオルガン プロムナード・コンサート
3/15（日）「市民のためのオルガン講座」実技レッスン受講生による発表会
13:00～（60分程度）入場無料
- プロムナード・コンサート EXTRA
3/21（土・祝）「準・メルクル ヴァイオリン貸与プロジェクト」貸与者による発表会
出演：出口恵大、小林日和、野口わかな、古谷麻柚子
13:00～（45分程度）入場無料

ACM 劇場

- 天下の魁・水戸の歴史まちづくりシンポジウム
3/1（日）13:30 開始 入場無料 [全席自由]
- フラメンコ カルメンを舞う
構成・振付：小松原庸子 出演：荘村清志 ほか
3/7（土）15:00 開演、8（日）14:00 開演
料金 [全席指定] S席 ¥5,500 / A席 ¥5,000 / B席 ¥3,500
- 平成26年度水戸子どもミュージカルスクール発表公演
『パーフェクト・ファミリー!?』
3/28（土）13:00 / 16:00 開演、29（日）13:00 開演
料金 [全席指定] 子ども（3歳～中学3年生）¥800 / 大人 ¥1,500

現代美術ギャラリー

- 山口 晃展 前に下がる 下を仰ぐ
2/21（土）～5/17（日）9:30～18:00 ※入場は17:30まで
【休館日】月曜日 ※ただし5/4（月・祝）は開館
【入場料】一般 ¥800 / 前売り・団体（20名以上）¥600
※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料
- クリテリオム90 大久保あり ※料金は展覧会の入場料に含まれます。
- 高校生ウィーク2015
3/8（日）～4/5（日）※入場は17:30まで
【カフェ開場時間】（火・金）15:00～18:00 / （土・日・祝）13:00～18:00
【カフェ会場】ギャラリー内ワークショップ室
【無料招待対象】高校生または15歳～18歳の方
※学生証または年齢がわかる証明書をご提示ください。

チケットに関するお問い合わせ

- 水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000
営業時間：9:30～18:00（月曜休館）
- 公演内容や企画に関するお問い合わせ
水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118
- ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>
公式ブログ <http://concerthallatm.blog101.fc2.com/>
ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場
twitter @ConcertHall_ATM

編集後記

かつて、大学受験当日に微熱を出した私は、精神的に追いつめられていました。が、一緒に受験する友人から一言。「たいした熱じゃないじゃん！」その一言で全部吹っ切れました。今でもありがとうございます。（り）

何が運動を…と思い、ボルダリングに挑んだ。色とりどりの岩の壁を前にし、果たして楽しいと思えるのか不安だったが、やってみると予想外に楽しい！初級レベルではあるが、クリアできた時の達成感は癖になりそう。（福）

胃腸炎でダウン。生まれて初めての点滴を体験。注射されるときはちょっとワクワク。薬が少しずつ体内に流れ込んでくると、腕から肩にかけてひんやりする感じが気持ちよくて……。それで、あとは眠っていました。（篠）

時代は高音質CDやハイレゾ音源へ。でも、私は逆に、なんと四半世紀ぶりにLPレコードが聴ける環境を整えました。大きな黒い円盤と見入ってしまうジャケット。音にも、なんとも言えないあたたかみがあります。（て）

数秒しか記憶はもたなくとも鍵盤の前では自分を取り戻せる人など、『音楽嗜好症—脳神経科医と音楽に憑かれた人々』では音楽と単純には切り離せない生活を送る人が大勢登場する。音楽と人の深い関係に目からウロコ。（樹）

乳製品嫌いで匂いも苦手だ。先日乗り込んだ常磐線特急の車内。何やら怪しい匂いと思い、隣の男性を見ると「濃厚明太クリーム味」なるポテチを食べていた。「なぜ“濃厚”なのだ！」と心で叫び、じっと耐えた。（中）

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ]
2015年3月発行 第196号
編集発行：水戸芸術館音楽部門
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130
E-MAIL ankmr@arttowermito.or.jp
URL <http://arttowermito.or.jp/>
編集：水戸芸術館音楽部門（五十音順） / 石井亮子
稲田枝里子 篠田大基 関根哲也 高巢真樹 中村晃
デザイン：藤澤絢子
印刷所：山三印刷株式会社